

KONAN Times 2016

“今”の甲南学園を、伝える

2019年100周年を迎える
甲南学園の学び
[大学編]

100
100th ANNIVERSARY
KONAN GAKUEN

伝統と、揺るがぬ理念の先に見える新たな一面 大学を舞台に、光る個々の活動

旧制高等学校時代から個性の尊重を掲げ、画一を排する「ひと創り」を切り拓いてきた伝統を受け継ぐ甲南大学。

今もなお、教職員と学生の距離が近く、一人ひとりの能力を引き出す学生主体の教育は変わらない。

一方で、情報技術やナノテク、マネジメントの分野で新学部が設置され、グローバル教育も進化し続けるなど、常に時代に即した学びを提供している。

見えてくるのは、伝統を礎に学生、教員、職員が共につくる新しい甲南大学の姿だ。

2016年の今、個性を伸ばす校風や環境の下、躍動する学生、教員たちの取り組みを紹介する。

1年間で
2編の論文
「ネイチャー」掲載

英国の科学誌「Nature」に 論文掲載の教員から、最先端を学ぶ

日下部岳広教授と、富永望准教授のそれぞれの国際共同研究論文が、昨年8月と今年2月に英国の科学雑誌「Nature(ネイチャー)」に連続して掲載。



日下部岳広教授
理工学部 生物学科



富永望准教授
理工学部 物理学科

第29回
独創性を拓く先端技術大賞
特別賞受賞



真下 遼さん
大学院
自然科学研究科
知能情報学専攻

先生方や研究メンバーに、形ある恩返しができなかったです。本学の研究環境の良い点は、学生自身が自由に研究を行えるところ。漫才ロボットに関してもロボット開発を行うための環境と設備が用意されており、いつでも自由に研究し、開発を行うことができます。先生方も学生の研究を強く後押ししてくれるため、やりたいことを実現するには最良の環境だと思います。



第5回全国大学生マーケティングコンテスト(Marketing Competition Japan 2015)は、マーケティングプログラムを英語で発表する全国大会。課題は、大手飲料メーカーの前年比20%増の売上を実現する販売促進戦略だった。マネジメント創造学部(CUBE)の佐伯ゼミのチーム「Go CUBE」は、関西予選を勝ち抜き、4年連続で全国大会に出場。全国45大学から勝ち抜いてきた7大学で行われた決勝大会を戦い、慶應義塾大学の3連覇を阻んで、初優勝に輝いた。マーケティングへの理解度や英語を駆使する力、プレゼン能力など、社会で求められる力を磨いてきた成果が見事に花開いた。

4年目にして
初の頂点へ

第5回全国大学生
マーケティングコンテスト
優勝



石蔵利巨さん
マネジメント創造学部
特別留学コース

優勝できた最大の要因は、チーム内における連携力にありました。1年生の頃からグループワークの多いCUBE生は、組織で何かを成し遂げること慣れていているように感じます。こうした要素が今回の結果につながったのではないかと思います。相手を信じるのが良い結果を生み出す。そのことを、身をもって学びました。

グローバルゾーン・ポルト誕生! どの学部にも所属していても 国際交流ができる環境に

二つの国際センターが融合して実現したスペースでは、学部に関係なく学生たちが自然に国際交流を体験し、留学への夢を次々と実現する。専門教育に国際力や行動力をプラスする。これが「全学部・全学生」に開かれた「融合型グローバル教育」だ。

宇宙への夢を現実のものに。 新卒でJAXAに内定!

※宇宙航空研究開発機構

植本有海さん 宇宙開発に携わる仕事に就きたいという夢がかない、驚きとうれしさでいっぱいです。今後の目標は、かねてから興味があったスペースデブリ(宇宙ゴミ)の研究に携わり、世界でもトップクラスの研究者になることです。

理工学部 物理学科



太田茜さん 理工学部 生物学科 特別研究員

自然科学分野において 指導的立場を目指す 期待の女性研究者

資生堂
サイエンスグラント
受賞

オープン
キャンパス
実施します!

4.17日 7.17日 8.7日 10.2日

甲南大学で何が学べるか、どんな成長ができるのか。教職員や甲南生たちが大学の特徴を丁寧に紹介し、受験生・高校生や保護者の疑問にお答えします。一度、足を運んでみてください。詳しくは甲南chへ。



5季ぶりに 1部リーグへ復帰

昨年創部60周年を迎えたアメリカンフットボール部「レッドギャング」。4回生を中心に一体となって戦い、昨年12月の桃山学院大学との入れ替え戦に9-3で勝利。5季ぶりに1部への復帰が決定した。今春からは、学生日本一のチームがひしめきあう関西学生1部リーグで、激闘を繰り広げる。

自らの可能性を信じ、夢や志に向かってまい進する そんな学生たちを、支えていきたい

大学の学びとはなにかな。それはまず、学部や学科で専門的な知識や技能を修得することです。しかし多様な人材の力を社会に生かすことが求められる昨今、改めて、一人ひとりの人物の力を磨くことの大切さを感じています。個性を発揮して自らのキャリアを切り拓く力、人をつなげ、人となつた力、これらを健全な志を持って朗らかに実践する力も同じように大切です。一人ひとりの個性を引き出し、伸ばしていくことが、甲南大学の「人物教育」でありミッションなのです。

ここに紹介している成果や取り組みはほんの一例。「人物教育の甲南」であり続けるべく、今後も甲南大学は力強く挑戦を続けてまいります。



学長
長坂 悦敬

学生のやる気、向上心に
とことん付き合う校風と環境
スチーデントオリエンテッド(学生中心)主体の教育という考え方が教育界に広がっているが、甲南では創立当初から人はそれぞれ異なる天賦の才能があり、その才能を伸ばすのが教育の使命と考えてきた。そのため一人ひとりの学生の顔が見えることを大切に、入学定員の増員をしていなかった。今後はさらにその姿勢を強化し、先進の学部以外にも講義1クラスの受講生が100人以内になるように、大学全体で少人数教育を進めていく。甲南の学びで自分の個性に目覚め、その個性を力にするため自ら動く、そんな学生の可能性を尊重し、サポートする校風や制度が、ここにはある。一人ひとりの個性、その活動が、新しい甲南大学らしさを形づくっていく。

時代を超えて進化する学びと
いつまでも変わらぬ思い
甲南大学は長い歴史を持つ大学だ。その間、「旧制高校の伝統がある」「多くの経営者を送り出している」「神戸の洗練された学校」といったパブリックイメージを獲得してきた。では、近年の実態はどうだろうか。甲南大学では、ここ10年の間に、3つの学部を新設している。ロボット研究で注目を集める知能情報学部、グローバル社会を生き抜く人材を少人数制で育てるマネジメント創造学部。そして1学年35人の定員に14人の専任教員という少数精鋭のフロンティアサイエンス学部だ。甲南はその建学の精神から、教員が一方的に知識を教授することではなく、学生の才能を発揮させることを、教育と呼んでいる。時代の要請に応える学びを提供しながらも、教員と学生の距離が近い、質の高い教育に努めている。

甲南学園は自ら考え、行動する人を応援しています

甲南学園

広報部
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
TEL.078-431-4341(大代表) URL:http://www.konan-u.ac.jp/

甲南ch.

検索

企画・制作 日本経済新聞社クロスメディア営業局

広告